

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
海外デザイン研修 2											
対象	2 年次	開講期	前・後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山田 盛久 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。											
授業概要											
この授業では、海外研修で訪問する海外の建築物、大学・専門学校の建築教育機関を設定し、事前に、それらについてリサーチをする。そのために事前の勉強会を実施し、訪問先となる国の歴史、風土、業界の状況を学習し、現地で使用される言葉の語学を勉強する。その上で、実際に現地の建築物や建築教育機関を訪問することにより、より広い視野で今後の建築制作活動に向かえ、また進路選択の判断材料として活かす。また最後には「海外研修ハンドブック」を制作し、海外研修の具体的成果としてまとめることを目指す。											
到達目標											
この科目では、海外の建築物の設計者、コンセプト、建設目的、建設までのプロセスをリサーチした上で、実際に現地に赴きその建築空間や建築材料、建築構造を具に観察することを目標としている。また日本とは異なる気候、風土、法規、材料、技術などの与条件からなる建築物の成り立ちを理解することで、広い視野で建築の知見を深めることを目的とする。さらに海外の建築教育機関とも触れ合うことにより、各自が受けている日本の建築教育とは異なる教育環境を肌で感じることを目標とする。											
授業方法											
事前の調査・勉強会で学ぶ。 現地での建築見学、街歩き、文化を体験、を通して学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題	30%	最終解団式に「海外研修ハンドブック」を期限通り提出したことを内容とともに評価する									
小テスト	20%	出発直前勉強会に「海外研修ハンドブック」の事前調査を期限通り提出したことを評価する									
レポート	30%	毎回の事前勉強会で「海外研修ハンドブック」の制作過程のチェックされた内容の評価する									
成果発表（口頭・実技）	10%	海外研修先での見学の取り組み、教育機関でのプレゼンテーションの取り組みを評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、能動的な調査・見学の体験を重視する。事前勉強会での積極的な授業での発言やリサーチ、語学学習への参加が大切となり、毎回の指導教官とのチェックと意見交換が重要となる。事前勉強会、現地での見学を通じて、徐々に各自の海外研修ハンドブックを制作していき、最後には最終成果物として「海外研修ハンドブック」を提出する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は「海外研修ハンドブック」を提出しても単位を与えない。											
教科書教材											
課題資料、参考資料を配布し、参考書等は授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	事前勉強会（1） 海外研修の主旨と行程を理解する／海外研修ハンドブック／訪問先の国・都市の概要調査課題										
第2回	事前勉強会（2） 国・都市の概要解説／建築物の調査課題（1）／提出：海外研修ハンドブックのページチェック										
第3回	事前勉強会（3） 建築物の解説（1）／建築物の調査課題（2）／提出：海外研修ハンドブックのページチェック										
第4回	事前勉強会（4） 建築物の解説（2）／語学／学校交流のリハ／提出：海外研修ハンドブックのページチェック										
第5回	海外研修（1） 日本出国／現地入国／ホテルチェックイン／建築見学／ウェルカムパーティ										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
海外デザイン研修 2	
第6回	海外研修（2） 建築見学／学校交流・現地学生との交流
第7回	海外研修（3） グループ別行動の街歩きと建築見学
第8回	海外研修（4） 建築見学／ホテルチェックアウト／さよならパーティ／現地出国／日本帰国
第9回	解団式 海外研修振り返り／アンケート／提出：海外研修ハンドブックの完成品